名古屋YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.778 2022

YMCA News 7·8

2022 年 7 月 1 日発行
1952 年 5 月 13 日発刊
毎月 1 日（月刊定価 1 部 60 円）
（購読料は YMCA 会費に含まれています）
公益財団法人名古屋 YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村　隆
●編集人 坂本清則

「楽しい」からはじまる、「楽しい」からつながる

偶然からのスタート

現役ユースリーダーである、大町公祐さん(タウンリーダー)と鈴木翔子さん(スヌーピーリーダー)に、リーダー活動を通して感じている思いを伺ってみました。お二人は小学校1年～2年生のお子さんが参加している「野外活動リーフ」に所属しています。

現在大学3年生の大町さんは、入学当初コロナウイルスの蔓延により、ほとんど大学へ通学することも叶わず、2年生になってからは新しいことに挑戦しよう！とインターネットで「名古屋 ボランティア」と検索し、偶然ヒットした先が名古屋YMCAだったそうです。「元々子どもたちとの関わりや、野外プログラムにも興味があったため、試しに参加してみたら楽しくて今に至ります」。

現在大学2年生の鈴木さんは、名古屋YMCA学園南山幼稚園の元園児であり、野外活動にも参加していました。小学校高学年で活動への参加は遠のいていましたが、ある日偶然、街中で街頭募金中のYMCAのスタッフに遭遇。「またキャンプにおいでよ！」と誘われたのが嬉しくて、その年に久しぶりにキャンプに参加したそうです。「あの時にキャンプに誘ってもらえたのが、リーダーになる一番のきかっけだった」。その後は同じ幼稚園の同級生とで「大学生になったら絶対にリーダーをやろうね！」と誘い合い、現在も一緒に活動しています。

「楽しい」は広がっていく

お話を伺う中で、何度も「楽しい」というワードが上がりました。時には大変なこともちろんある中で、やはり一番のモチベーションは「楽しい」から。

大学で専攻している学部は、教育に関する内容ではないお二人。大町さんは「普段子どもと関わらないから、初めはどのように接してよいかわからなかった。でもまず自分が楽しんで、それで子どもたちが楽しむことができたらなと」。自分が楽しむことで、子どもたちが惹きつけられて、みんなが楽しくなる。

「野外活動リーフ」で活躍するお二人

大町 公祐さん（タウンリーダー）写真左
鈴木 翔子さん（スヌーピーリーダー）写真右

リーダー活動では、自らがプログラムを企画し、ミーティングや下見などの準備でかなりの時間を費やすが、同じ思いの仲間と一緒にできるから、子どもたちが嬉しそうにしてくれるから、やっぱり自分が楽しいから「時間がかかるとか、大変とは感じません」。と鈴木さんは迷わず答えてくれました。

つながってほしい想い

自分が野外活動のメンバーだった時に一番記憶に残っているのは「お昼ごはんの後の鬼ごっこ」と語る鈴木さん。何気ない時間が一生の思い出となっています。自分が知っていること、経験したことでも、子どもたちが驚いたり感動している姿を見ると、同時に子どもたちの目を通して自分も新しい発見をすることがあります。「これはリーダーをやっていたからこそ感じることができたことです」。

「YMCAでの活動は、普段できない経験がたくさん。何よりも大学や年齢の壁も超えて様々な人と出会うことができる魅力があります」。大町さんは、自身が一歩踏み出して始めることができた、その先のかけがいのない経験を学生たちに広めていきたいと力強く話していました。

ユースパワーの輪は、確実に周りへ、次のリーダーたちへと広がっていると感じます。

告知

ソウル・香港・名古屋 Youth Exchange Program

初の試みとしてソウルYMCAが主幹し、香港YMCA、名古屋YMCAの3つのYMCAのユースたちが気候変動について学び合い、お互いの交流を目的としたプログラムを実施します。

このプログラムは各YMCAから10名のユース（15歳～25歳）が参加し、ソウル、香港、名古屋から各1名ずつ、10グループを作って活動をしていきます。普段生活している圏内の空気の質を計測する、各地域での課題を出し合う、気候変動に対する具体的なアクションを考え動画を作成するなどの活動を行ないます。

異なる地域で生活している若者たちが、気候変動を中心のテーマにおきつつ交流の機会とすることも、このプログラムの大切なテーマです。名古屋からの参加者も、ユースボランティアリーダー、高校生、スタッフなど様々な人が参加します。多様な文化や価値観に触れ、広い視野を持った、将来のリーダーの育成を目指します。

6月～9月までの期間、異なる地域の若者たちの貴重な交流の機会となります。YMCAのSNSでも発信していきますので、楽しみにしていてください。　（遠藤 恵美子）

告知

名古屋ＹＭＣＡ市内 中学生バスケットボール大会

コロナ禍のため2020年度は中止、2021年度は一チーム一試合の交流戦として開催とした本大会ですが、今年は2年ぶりに従来のトーナメント形式での実施となりました。今年は男女各92チームが参加し、市内のスポーツセンター6会場で、YMCA優勝旗（男子）とロータリーカップ（女子）を目指して熱戦を繰り広げます。

バスケットボールはYMCAで生まれたスポーツです。起源がハッキリしている競技は珍しいのですが、米国マサチューセッツ州の国際YMCAトレーニングスクール（現スプリングフィールド大学）の体育教官であったジェームズ・ネイスミスが考案したもので、その後各国に広まって現在のような人気スポーツへと成長していきました。

考案者の願いである、「いつの時代であっても、バスケットボールを青年の成長の機会として長く続けてもらいたい」という思いを継承し、今年の大会も実施されます。

（ボランティアセンター　坂本 清則）

告知

夏休みプログラム始まるよ！

例年以上に多くの参加申込みをいただき、YMCAの夏休みへの期待を感じます。キャンプに、体操・サッカーに、デイプログラムに、イングリッシュにと、子どもたちは今からワクワクしていることでしょう。いっしょに過ごすリーダーたちも、子どもたちを楽しく、安全に迎えるため、しっかりと準備を整えています。さあ、今年はどんな出会いが待っているかな！

報告

「いつもありがとう」の気持ちが芽生えた花の日礼拝

かりやYMCA保育園では、6月14日に「はなの日礼拝」を行いました。保育園の絵本コーナーやお部屋には、お花が美しく飾られ、「この花はなあに？」「きれいだね」と様々な色や形のお花に目を輝かせ、においを楽しむ姿がありました。

たくさんの花に囲まれての礼拝では、小さなお友達も参加して、花も人も神さまから与えられ、大切に育てられてきたことに感謝をしました。

礼拝後は花束を作り、給食を作ってくださる栄養士さんへ「いつもありがとう」の気持ちをお届けしました。お部屋に戻ってくると、「お母さんにもお花を渡したいな」という子どもたち。「折り紙ちょうだい！」と思い思いに花束を作りお母さんにプレゼントする姿がありました。はなの日礼拝を通して、子どもたちに感謝の心が芽生えたことを嬉しく思う一日となりました。（磯見 あや）

報告

「発達サポートYMCAつるさと」に応援物資が届きました！ ～Amazonみんなで応援プログラム～

Amazonによる社会貢献活動の一つである「みんなで応援」プログラムは、各団体が支援を希望する物資のリストをAmazonのサイト上で公開し、ご賛同いただける方にその商品をご購入いただくと、応援物資として支援先に届くというチャリティーキャンペーンです。このプログラムには、全国のYMCAが参画しています。これまでに名古屋YMCAの各拠点にも数々の応援物資が届き、活動の幅を広げることができました。

先月、発達サポートYMCAつるさとでは、画用紙セットと折り紙セットのリストを公開して間もなく1週間後、希望した全てが子どもたちの手元に届きました。届いた材料を使い、色鮮やかな季節の作品ができあがりました。この夏休みは、例年より多くの創作活動に取り組めることと思います。

温かな気持ちでご支援してくださる方々に深く感謝しております。ご支援ありがとうございました。（浅野 由梨佳）

総主事コラム

野球場ではない「後楽園」

岡山に行く機会が与えられ日本三大庭園の一つ後楽園に行ってまいりました。見事に整備された庭園は本当に美しく、築園当初「菜園場」と呼ばれていたように、園内には田んぼや茶畑が設けられ、古き良き田園風景が庭園に上手く取り込まれています。印象的なのは、庭園全体に曲水という水路があり、早瀬やせせらぎ、瀧、淀みなどが工夫を凝らして400mに渡り張り巡らされています。清い水の流れが作物や木々を豊かに育み、清涼感を与えてくれます。しかしながら、そこで疑問が生まれました。中州に盛り土をした高台に作られた後楽園にどうやって水を引き込んだのか？　庭園の曲水の始点に足を向けると、そこには水源と記されており、「昔は水源を旭川の4Km上流からひいた後楽園用水を用いていましたが、今は伏流水を汲み上げています」と書かれています。調べてみるとポンプのなかった昔は、４m高い水源地から導水管を通り、3.5mの高さの後楽園水源までサイフォンの原理を用いて引き上げていたことがわかります。園庭を流れる曲水も高低差を利用し水路が作られており、苔や水草が水をろ過し、すべて自然の恵みと摂理が生かされています。水は高いところから低いところに流れる当たり前の原理を利用し、自然との共生が素晴らしい知恵によって構築されていました。ペシャワール会の中村哲さんも、アフガニスタンの干ばつから人々を救うために、蛇籠という昔の日本の技術を活用し水路を作り上げました。「針金のカゴに石を詰めた蛇籠を護岸に使い、その背後に柳の木を植えるとその根が水路を包んでくれ、針金が錆びて朽ちてもその根が石を抱えて保護してくれる」と語られています。異常気象が続く昨今、私たちには自然と共に生きてきた先達の知恵が必要なようです。

（中村 隆）

維持会員感謝・賛助会員感謝・ご寄付感謝　（2022年5月27日～6月26日）

維持会員（継続）

土屋　俶子　平尾　泉
杉山　弘時　加藤　満
荒川　文門　鷲尾　文夫
三口　妙子　鈴木　孝幸
小澤　幸男　深尾　俊雄

（新入）

永田　春香　振屋　夏葵
竹本　未佳　馬場美菜子
吉光　美佳　山本　有美
板井　裕美　山口　朋楓
小林　紗希　水野かきつ
山中　香奈

賛助会員

（継続）

学校法人金城学院
六合株式会社
オリエンタルビル株式会社
大同メタル工業株式会社
タイガー総業株式会社
岡谷鋼機株式会社
日研オフィスシステム株式会社
後藤・鈴木法律事務所
豊田通商株式会社
日本特殊陶業株式会社
中部日本放送株式会社
敷島製パン株式会社
株式会社イズミック
株式会社矢場とん
株式会社linkworks
株式会社テツタニ
株式会社中島建築事務所

（新規）

株式会社ロイヤル

寄付

〈名古屋YMCA120周年記念募金〉

名古屋グランパスワイズメンズクラブ　桐山　潤　河部　薫

〈国際協力（ウクライナ緊急支援）募金〉

錦織　一郎　深谷　聡　名古屋ワイズメンズクラブ　小澤　幸男　義井　裕子
川本　龍資　渡邉　徹朗　八木　武志　亀村　奏太　入船　祐輝　小原　蓮
山口　栞璃　仲島　睦　西村　夏向　小島　悠暉　瓜田龍之介　小野　航輝
山内　翠　山内　葵　仲島　凛　小林　玲子　渥美　芙優　鈴木　駿介
大岩由美子　加藤倫太郎　岡野　将直　岡野　友奏　土屋　潤和　吉田　恵麻
吉田　歩生　平井　文乃　吉田有美香　岩井　椋平　平田　湊也　亀村　優希
亀村　彩葉　河合　薫　河合　悠　森川　桜子　梶浦　咲希　加藤　碧
加藤　凜　佐野　景亮　佐野　結希　佐野　巧実　安井　志織　小島　香蓮
本谷　紗麗　櫻井咲也叶　大鹿　新　大鹿あおい　光田　梨花　光田　圭吾
加藤　明宏　黒木　莉子　坂本　悠真　向井　佑吏　服部　朋葉　小島とよ子
山本　和子　西川原ありあ　山下浩志朗　安藤　千尋　福永　尚真　岩上　颯志
鶴田　翔己　山崎　幸大　鈴木　恵人　吉川　裕子　内藤　なる　平岩　杏梛
木村　咲妃　木村玲央名　髙橋　裕哉　髙橋侑太郎　平　真輝　秋元　望来
服部　日咲　水谷　真理　齋藤　佑奈　丸茂小友合　梅村　真央　堀内　優
相川　颯　中村　澪　中村　一花　野田　柚貴　川瀬　琴子　菊池　咲稀
村上　俐大　吉田　光伶　中村　早那　伊集院汐織　黒川　可偉　黒川　万結
土師　陽之　水谷　光喜　香田　一美　貝沼咲弥香　上林　寿子　辻　美代子
近藤　芙実　古川　朝陽　岡上　椿　市橋　虎哲　川瀬悠之介　澤田　篤人
月尾　礼見　原田　和実　谷口　大和　谷口　大虎　稲垣　玲臥　稲垣　朱音
菅谷　唯月　大嶋　研惺　大嶋　怜佳　藤澤　凜　宮川　志織　宮川　瑞穂
伊丹　怜禾　本谷啓一郎　小林　凛々　小林　稜　中西　諒　大島　春陽
坂本将太朗　山口　朋楓　岡田　佳純　岡田　旬平　三宅　勘太　竹本　未佳
オモオモレギー・ジェームス　オモオモレギー・ジェシー　濱田　小夏　岡本悠乃花
杉浦　碧　振屋　夏葵　細萱　柚季　ブタトキ・プン・アヤン　山本　有美
久松　瀬夏　Miona　東川　稜　林　依怜菜　林　珠央菜　林　達也
中崎　弥　石井　芳龍　河部　薫　長谷川和宏　相馬　静香　相馬　朋子
石田　真之　佐藤聡志朗　中村　隆　藤崎　理奈　遠山　恵理　中井　信幸
広瀬　謙一　谷口みはる　磯部　萌香　坂本　美穂　成瀬　祥子　福田　樹
浅野由梨佳　済田　真美　吉田　あき　東田　美保　山田　公子　清水美佐子
橋本　啓　中島　成美　募金箱（南山）　募金箱（本館）　街頭募金（栄）　街頭募金（名駅）

〈学童キャンプ支援寄付〉

磯部　徹　牧野　和博　田中　万寿

ワイズコーナー 7月・8月例会の予定

名古屋	7月	7月12日（火）　19：00～	総会	名古屋YMCA（ZOOM併用）
	8月	8月 9日（火）　19：00～	未定	名古屋YMCA（ZOOM併用）
名古屋東海	7月	7月 9日（木）　16：45～	総会	名古屋YMCA
	8月	未定	未定	未定
名古屋南山	7月	7月 14日（木）　19：30～	総会	南山YMCA
	8月	8月 11日（木）　時間未定	納涼例会	未定
名古屋グランパス	7月	7月 9日（土）～10日（日）	一泊例会	日和田キャンプ場他
	8月	8月 10日（水）	メンバー卓話「ジョージ・ウイリアムズとふるさと」　吉田一誠氏	名古屋YMCA

早天祈祷会

日時　7月5日（火）　7：45～8：30　**会場**　名古屋YMCA　5Fチャペル／8月休会

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと	052-823-2021
かりやYMCA保育園	0566-62-8227

https://nagoyaymca.org

名古屋YMCA使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2022年度聖句

「主に望みをおく人は新たな力を得　鷲のように翼を張って上る。」
（イザヤ書40章31節）